

「学友会誌」第四号（1934 年）

【目次】

巻頭言

北 吟吉

グラフ

一、平福百穂先生遺作及面影

二、学園点写 三頁

平福百穂先生の諸品

金原省吾

入門当時の思出

小林巢居

鳥と人間

郷倉千靱

自然の模倣

名取 堯

海外での想ひ出

ブリュッセルの思出

井上忻治

独立記念祝賀に美育会議

岡登貞治

小便と亡国

杉浦非水

産美博物館の提唱

吉田三郎

ブルンデルのこと

清水多嘉示

洋行の思出

中川紀元

冬の夜

鈴木 誠

フィレンツェの思ひ出

鈴木千久馬

ド・モン・カイエ

小松 清

論文

両極性体制に於ける方向性

郡山三郎（西・三）

帝展彫刻と自己を語る

入江不凡（彫・四）

造型教育に於ける実験材料としての映画

英賀重夫（図・五）

パプストの「ドン・キホーテ」

富田惣七（西・五）

防長地方の神社と茅葺屋根

井上 孟（師・三）

創作

若かき肖像

村本良三（西・二）

K 町の頃の追憶

小栗 正（日・四）

鳥飼房子

荒木 剛（西・三）

小鳥の死

坂本良雄生（西・一）

幽霊

菊地友一（図・二）

ベッドで溺死した男

田中富士雄（図・二）

変以後

平松幸彦（図・二）

随筆

この心

江坂 実（図・五）

長屋雑筆

和田正一（西・三）

寂夜に相見す

塩出英雄（日・四）

世に出るまで
秋に寄す
学園私見
ペートベン画集
学園を去る時近し
芒と俳句
犬吠岬所感
湯谷雑記帳

小出正雄 (日・四)
中野菊夫 (図・二)
鈴木一徳 (西・二)
林 兵治 (西・三)
皆見鵬三 (西・五)
車原 徹 (日・二)
鈴木一徳 (西・二)
小田正春 (西・一)

詩・短歌・俳句

門・滝・花火
或る夕方
破滅
腐ることはない積極性を持つ・ピエロ
貝殻細工・扉
独愁雑詠
鏡たゞき虫
秋によむ (古き作より)
果实店
友を歌へる・旅雑詠
明障子
雑吟
春秋
芒祭
雑詠
故川原与助兄をしのぶ
故川原与助君を想ふ
逝ける神宮京君の思出
学友会改革案
グラウンド改造に就て

笠 秀雄 (西・一)
中川康之 (西・四)
酒井 正 (西・三)
能崎和告 (西・三)
大久保良暢 (日・二)
竹花 忍 (西・一)
中野菊夫 (図・二)
大久保良暢 (日・二)
笠 秀雄 (西・一)
有光直記 (西・五)
栗山 博 (日・四)
山岡嘉孝 (西・四)
富永徳良 (図・二)
笠 秀雄 (西・一)
浅川秀夫 (日・四)
清原秀夫 (師・三)
日高大三 (西・二)
村瀬静孝 (西・四)
郡山三郎 (西・二)
小川一男 (西・三)

学校、学友会、研究会報告

学校記事
昭和八年度学友会委員会報告
昭和九年度委員会報告
昭和八年度会計報告に就て
会計報告
演劇会報告記録
映画部研究会報告
野球部々報
西洋画科卒業生便り
吉祥会報告

二階堂顕蔵
池田俊一
統制部
皆見鵬三
赤木直梢
TBK 記録部
古郷正男
浅江研太郎

本年度師範科卒業生名簿
本年度工芸図案科卒業生消息
後記
教職員及生徒名簿

宮永芳江 二階堂顕蔵

【奥付】

昭和 9 年 12 月 10 日 印刷

昭和 9 年 12 月 15 日 発行

東京府下武蔵野町吉祥寺

帝国美術学校内

編集兼発行者 宮永芳江

二階堂顕蔵

発行所 帝国美術学校学友会

* 表記は一部の人名を除いて新字を採用し、明らかな誤字については修正しています。

* 氏名のあとの（ ）は、所属・学年を示します。

西：西洋画科、日：日本画科、彫：彫刻科、図：工芸図案科、師：師範科